潜熱蓄熱建材
エナジーボードPS

設計施工説明書

NEGISHI

このたびは、潜熱蓄熱建材【エナジーボードPS】採用いただきありがとうございます。
本書は、設置・施工を正しく、しかも効率よく施工をしていただくために作成しています。施工前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。不明な点等がございましたら、担当の技術者または、弊社の技術担当者にご確認ください。

◆本文中に使われる[絵表示]の意味は以下の通りです。

⚠ 注意する	❗ 指示を守る

⚠ 注意

1、施工の前に、製品の破損・変形・傷がないか確認してください。施工不良、液漏れの原因になります。
2、製品を落とさないように取り扱ってください。製品の破袋やケガをする恐れがあります。
3、製品を無理に折り曲げたり、変形させることはやめてください。

❗ エナジーボードPSは相変化温度が大気温度に近い為、時期（春～秋）や保管場所によっては融解し、梱包内で変形している場合があります。液状のままであれば取扱いに注意して敷設して頂けますが、変形して固形化していた場合は無理に曲げたり伸ばしたりせず、ゆっくりと熱を加えて柔らかくし、形を整えてください。

製品仕様

品番		EB-20AL09	EB-20AL15	EB-25AL09	EB-25AL15	EB-30AL09	EB-30AL15	EB-19PP25PV	注
Size（W×L×tmm）		245×560×9	245×560×15	245×560×9	245×560×15	245×560×9	245×560×15	240×570×25	
蓄熱材	重量（kg/枚）	約1.2	約2.0	約1.2	約2.0	約1.2	約2.0	約3.2	
	蓄熱量/潜熱量	222 / 157	370 / 262	232 / 156	386 / 260	222 / 157	370 / 262	1813/715	※1
	（kJ/枚）	——	——	——	——	193 / 145	322 / 242	——	※2
	主成分	硫酸ナトリウム10水塩							
	相変化温度	20℃		25℃		30℃		19℃	
	容器	多重積層構造二重袋						PP容器	
利用方法		A、B、C							※3
対象室の断熱		平成11年省エネルギー基準適合住宅以上確保							

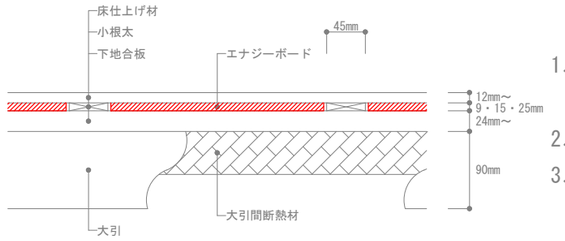
※1　温度範囲15℃～35℃における値
※2　温度範囲20℃～35℃における値
※3　A『開口部からの進入日射熱利用』　B『温水式床暖房放熱器利用（太陽熱集熱設備併用）』　C『屋根空気集熱式ソーラーシステム利用』

施工方法（共通）

⚠ 注意

1、施工説明書に基づかない施工は、液漏れの原因になりますのでやめてください。
2、エナジーボードＰＳを直接固定は出来ません。むやみに釘打ち・ビス止めによりボードに孔開け、傷つけ、破損等はしないでください。
3、敷設した上から、床材や工具等、硬いものや鋭利なものを落とさないよう細心の注意をしてください。
4、エナジーボードＰＳを敷設した上で作業等を行わないでください。
5、敷設作業後、速やかに床貼り作業をしてください。長期間にわたりエナジーボードが露出状態となる場合には、外傷保護のため周囲に保護柵を設け、関係者以外の立ち入りを禁止するか、合板等を敷き詰め直接荷重がかからないようにしてください。
6、本製品の施工前に床下断熱材を必ず入れてください。また建設省断熱材厚さ基準に適合したものを使用してください。また、蓄熱材に貯めた熱を効果的に室内に放熱させるためにも、床下、壁面に隙間なく断熱材を施工してください。
7、本製品はそれぞれにかなりの重量がありますので、下地等充分耐えられる材料、構造で工事を行ってください。

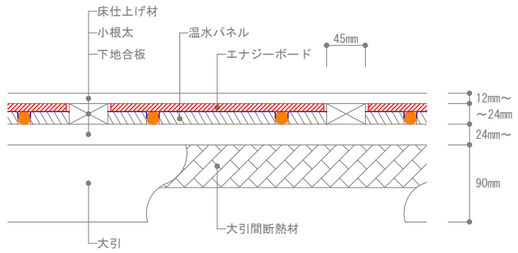
施工方法例【Ａ,開口部からの進入日射熱利用】



1、下地合板の上に製品厚みと同じ高さの小根太（幅45mm）を1尺ピッチ（303mm）で固定します。
2、小根太どうしの間にエナジーボードＰＳを敷設します。
3、小根太に床仕上げ材を固定し、敷設します。

⚠
- エナジーボードＰＳを敷設する面に突起物等がないかチェックし、清掃を行ってください。
- 敷設した際、エナジーボードＰＳが小根太の高さ以下になっているか確認してください。
- 床材を貼るとき、床材の實どうしを合わせる際に床材とエナジーボードＰＳが擦れて蓄熱材の袋を破いたり傷つけたりしないようにしてください。

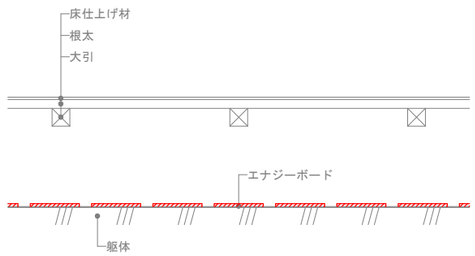
施工方法例【Ｂ,温水式床暖房放熱器利用（太陽熱集熱設備併用）】



1、下地合板の上に製品と温水パネルを合わせた厚みと同じ高さの小根太（幅45mm）を1尺ピッチ（303mm）で固定します。
2、小根太の間に温水パネルを敷設・配管します。
3、温水パネルの上にエナジーボードＰＳを敷設します。
4、小根太に床仕上げ材を固定し、敷設します。

⚠
- 温水パネルを敷設する面に突起物等がないかチェックし、清掃を行ってください。
- 敷設した際、エナジーボードＰＳが小根太の高さ以下になっているか確認してください。
- 床材を貼るとき、床材の實どうしを合わせる際に床材とエナジーボードＰＳが擦れて蓄熱材の袋を破いたり傷つけたりしないようにしてください。

施工方法例【Ｃ,屋根空気集熱式ソーラーシステム利用】



1、敷設する躯体の上に養生シート等を敷きます。
2、エナジーボードＰＳを並べるための墨印をつけます。
3、エナジーボードＰＳどうしを間隔を空けて配置します。

⚠
- エナジーボードＰＳを敷設する面に突起物等がないかチェックし、清掃を行ってください。
- エナジーボードＰＳを躯体に直接敷設しますと突起部等により破袋する危険性が高いので、断熱シートや養生シート等敷くなどしてください。
- 敷設後、床を敷設するまで破袋等が無いかチェックしてください。